

# 平成30年度事業活動の概要報告

当財団の平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、令和元年6月10日に開催された理事会及び6月28日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されました。

当財団をご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1) 学術交流促進・学術成果公開助成事業（学術交流の促進と学術成果の公開に係る助成事業）、(2) 教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せてご報告させていただきます。

平成30年度では、学術交流の促進と学術成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、平成27年度に新設した科学研究費獲得を推進するための「研究プロジェクト支援」の助成事業において4件を助成した結果、全てが平成31年度科学研究費（基盤A・B）に採択され補助金交付内定を受けました。また、第一線で活躍中の凌霜出身者による全12回の寄附講義「社会科学の実践」（学部1，2年生対象）支援事業は、好評のため履修定員を500名に倍増して実施していることをご報告いたします。

当財団の創立50周年記念事業として平成20年度に10年の期間限定で創設した「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」は、10年経過後も新たな社会科学特別奨励賞として継続しており、合計355名が表彰され、また、「学部相互履修科目開講支援」については創設以降単位修得者数が合計4,374名に上り、助成事業として教育の充実に大きな成果を上げているものと考えます。

今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力をご支援を賜わることをお願い申し上げます。

以上

## 事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業 **19,943千円**

1-1 学術交流の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19,143千円

(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への支援）・・・・・・ 8,900千円

○経営学研究科 (4,400千円)

・松嶋 登教授（平成31年3月～令和2年3月、オーストラリア）

目的：イノベーション・エコシステムのデザインに関する研究

- ・松尾貴巳教授（平成 30 年 10 月～平成 30 年 11 月、スペイン）

目的：政府組織における行政サービスのアウトソーシング  
と業績管理に関する研究

- ・森村文一准教授（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月、ドイツ）

目的：技術仲介サービスの継続利用意向と技術受容・役割  
知覚および目標の差異に関する研究

○法学研究科 (3,000 千円)

- ・木下昌彦准教授（平成 30 年 8 月～令和 2 年 7 月、米国）

目的：ブランドイースの表現の自由理論の研究

- ・大内伸哉教授（平成 30 年 9 月～平成 30 年 10 月、イタリア）

目的：デジタルイゼーションの進行がもたらす雇用への影響  
についての比較法的研究

○経済経営研究所 (1,500 千円)

- ・佐藤隆広教授（平成 30 年 8 月～平成 31 年 1 月、インド）

目的：インドの産業発展に伴う労働市場の変化に関する研究

(2) 学会・シンポジウム等開催支援 . . . . . 10,243 千円

○経済学研究科 (3,160 千円)

- ・神戸大学大学院経済学研究科・経済経営研究所

漢陽大学校経済金融大学・経済研究所

南洋理工大学経済学部

第 5 回 共同研究発表会

期 間 平成 30 年 9 月 21 日

場 所 神戸大学

- ・ 5 大学シンポジウム

（神戸大学・中国山東大学・浙江大学及、南開大学及び台湾・東呉大学）

期 間 平成 30 年 11 月 16 日～平成 30 年 11 月 19 日

場 所 山東大学（中国）

- ・第 4 回貿易及びマクロ動学国際カンファレンス

期 間 平成 31 年 3 月 1 日～平成 31 年 3 月 2 日

場 所 神戸大学

- ・第 4 回計量経済学国際カンファレンス

期 間 平成 30 年 9 月 14 日～平成 30 年 9 月 15 日

場 所 神戸大学

- ・第 6 回神戸・ブリューゲル国際カンファレンス

期 間 平成 30 年 10 月 3 日

場 所 ブリューゲル研究所（ベルギー）

・六甲フォーラム

期 間 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

場 所 神戸大学

○経営学研究科 (183 千円)

・若手ファカルティディベロップメント研究会

期 間 平成 31 年 3 月 14 日～平成 31 年 3 月 15 日

場 所 宮津市魚屋 9 3 7 清輝楼

○国際協力研究科 (1,400 千円)

・PCRC 主催第 4 回国際シンポジウム／「北極域資源開発と国際法の役割」

期 間 平成 30 年 12 月 6 日～平成 30 年 12 月 7 日

場 所 神戸大学

○経済経営研究所 (5,500 千円)

・漢陽大学校経済金融大学・経済研究所

神戸大学経済経営研究所・大学院経済学研究科

南洋理工大学経済学部

第 6 回 共同研究発表会

期 間 平成 30 年 9 月 21 日

場 所 神戸大学

・経済経営研究所創立 1 0 0 周年記念事業支援

1 - 2 学術成果の公開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 800 千円

(1) 学術研究成果刊行支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 800 千円

○国際協力研究科 (800 千円)

・金子由芳 著 アジアの民事法と法整備支援—改革の断面

神戸大学出版会

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業 19,867 千円

2 - 1 教育等の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19,867 千円

(1) 社会科学特別奨励賞（学部）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,876 千円

経済学部・経営学部・法学部の学部学生（2 年生～4 年生）の成績最優秀者への奨学金支給

(2) 社会科学特別奨励賞（大学院）・・・・・・・・・・・・ 2,063 千円

経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生の海外研究活動支援

(3) 相互履修科目開講支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,136 千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

- (4) 六甲台賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162 千円  
経済学部・経営学部・法学部卒業生の成績最優秀者へ授与
- (5) 久研究奨学基金による学生の海外研究活動に対する支援・・・・・・・・ 2,571 千円
- (6) 凌霜研究奨学基金による教育に対する支援・・・・・・・・ 500 千円
- (7) 学部学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,240 千円
- ・法学部教育プログラム経費
  - ・経営学部教育プログラム経費
  - ・学部共通学生海外派遣経費（神戸グローバルチャレンジプログラム）
  - ・学部共通講義教材経費（凌霜会・六甲台後援会寄附講義）
  - ・キャリア形成教育経費
  - ・学部教育研究活動経費
- (8) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,319 千円
- ・経済学研究科教育プログラム経費
  - ・経営学研究科海外派遣経費
  - ・法学研究科教育プログラム経費
  - ・法学研究科エクスターンシップ実施経費

**3 学術研究助成事業** **5,600 千円**

- (1) 研究プロジェクト支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,100 千円
- 法学研究科
    - ・中川丈久教授  
「国内法の国際化」に関する法分野横断的・比較法的な現状サーベイと理論構築
    - ・飯田文雄教授  
多文化共生社会の流動化と新しい人権政策・社会政策・入国管理政策に関する国際比較
  - 経済経営研究所
    - ・趙 来勲教授  
中国の工業化・輸出国化のメカニズムの解明 ～戸籍改革及び人口移動の視点から～
    - ・西谷公孝教授  
SDGs 時代のサステナビリティ情報の開示と利用に関する総合的研究
- (2) 社会システムイノベーションセンター（社会科学系研究分野）支援・・ 2,000 千円

・ユニット活動支援費

(3) 襄山研究奨学基金による学術研究に対する支援・・・・・・・・・・・・ 500 千円

**4 学術交流施設維持管理事業** **376 千円**

(1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理・・・・・・・・・・・・ 376 千円

**5 事業費付帯経費** **15,710 千円**